

## 2024(令和6)年度 修文大学短期大学部 就職先アンケート調査結果

2024(令和6)年6月  
学生支援センター

### 1.目的

入社(職)後の実務を通じて伺える本学卒業生の社会的な評価を把握し、教育の成果や効果についての検証を行う。また、就職先が求めるスキルを聴取し、今後の教育活動改善に活用する。

### 2.対象

2023(令和5)年3月卒業生が1名以上在職している就職先129件

### 3.実施期間

2024(令和6)年5月1日(水)～5月31日(金)

### 4.実施方法・回収率

(1)協力要請: 郵送(封書)

(2)アンケート回答方法: googleドライブ(QRコードからアクセス)または書面記入にて返送

(3)回収率:51.9%(67/129件) ※.前年度(50.0%) ※.送付数129件の内訳(生活文化学科関連57件、幼児教育学科関連72件)

### 5.質問

質問1. 2023(令和5)年4月入職者(入職2年目)の状況について。(「全員在職中」または「退職者があり」のどちらか)

質問2. 採用にあたり、1～10(下記の集計グラフ参照)の能力についてどの程度重視されていますか。

質問3. 本学卒業生の1～10(下記の集計グラフ参照)の能力について評価してください。複数名在職の場合は総合的に評価してください。

質問4. 本学卒業生について不足を感じられる点、卒業までに教育しておくべき能力、知識、技能などがありますか。

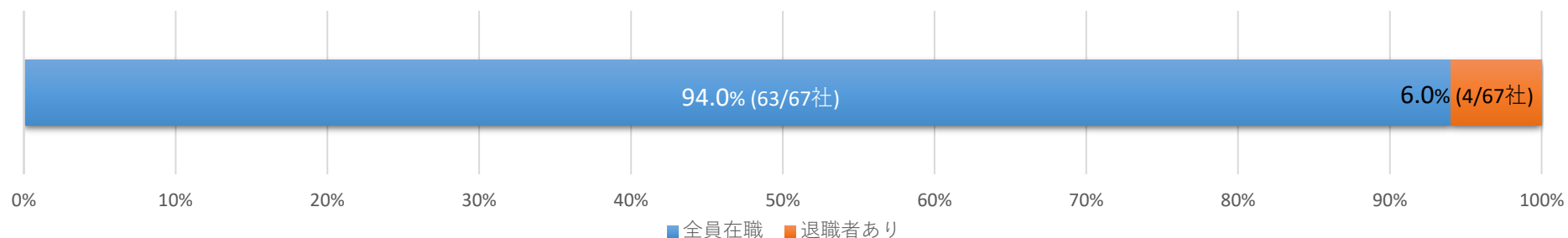
質問5. その他に本学卒業生について感じている事、または大学へ要望などがありますか。

### 6.総括

生活文化学科及び幼児教育学科全体の評価として、採用時に重視されている能力については、「重視した」と「ある程度重視した」を併せて7割以上を占める項目は10項目の内、「専門的知識・技能」と「プレゼンテーション能力」と「パソコン能力」を除いた7項目であった。特に「重視した」のみが6割以上の項目は「チームワーク力・協調性」と「コミュニケーション能力」の2項目であり、チームの内での協調性や責任感・誠実さなどの人間性が重視されていることが伺える。反対に「プレゼンテーション能力」と「パソコン能力」に関しては「重視した」と「ある程度重視した」を併せても5割以下であった。また、本学卒業生の評価は、全体的に良好な評価であった。特に評価が高かった項目は「重視した」と「ある程度重視した」を併せて「責任感・誠実さがある」が88%、「チームワーク力・協調性」と「専門的知識・技能」と「コミュニケーション能力」そして「パソコン能力」がそれぞれ80%以上であった。反面「プレゼンテーション能力」については「重視した」と「ある程度重視した」を併せても50%の評価となった。今後これらの能力育成を強化し身に付けさせることが必要とされる。

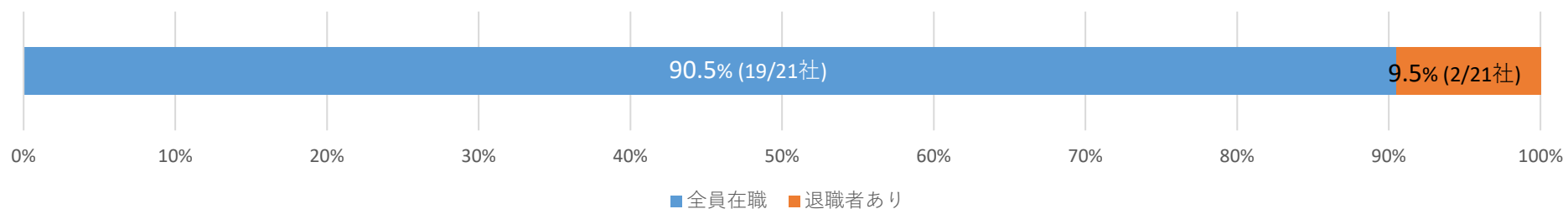
質問 1 全体

1年以内に本学卒業生の退職がありましたか



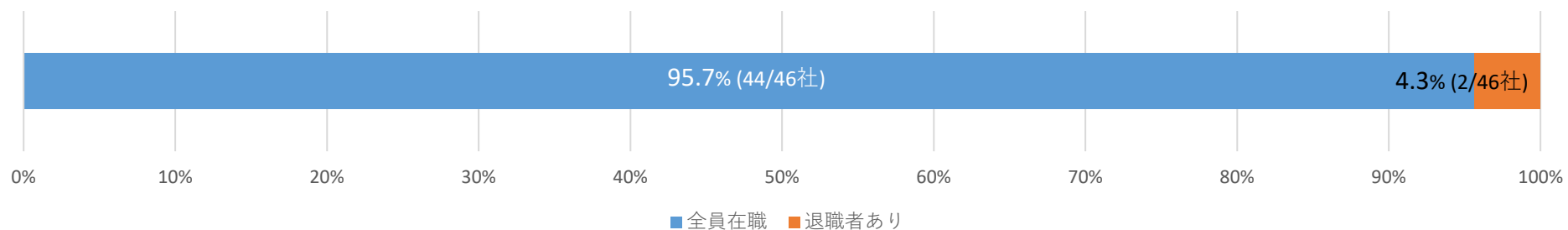
生活文化学科

1年以内に本学卒業生の退職がありましたか



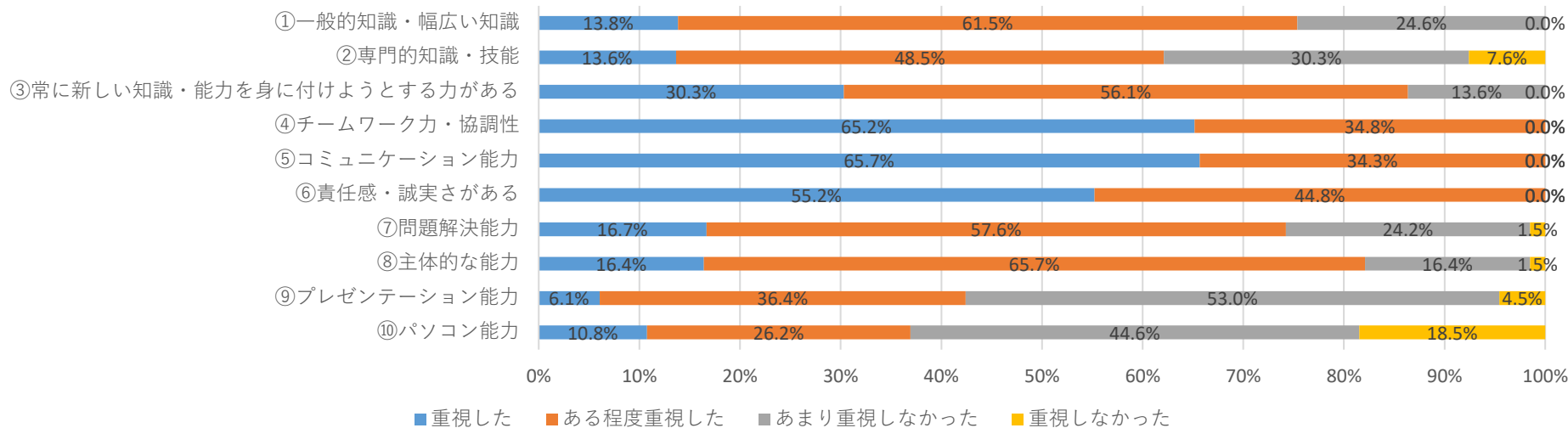
幼児教育学科

1年以内に本学卒業生の退職がありましたか



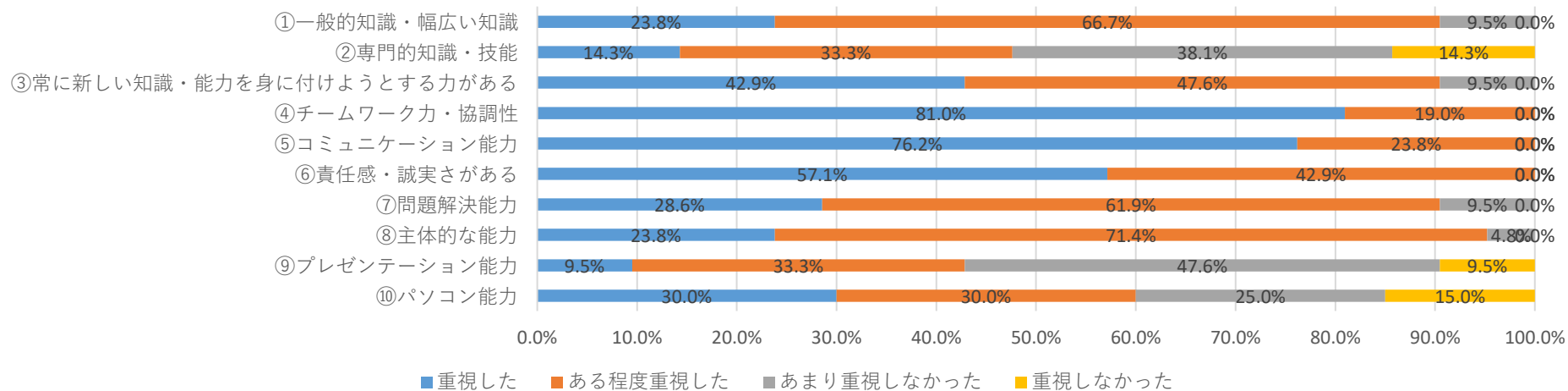
## 質問2全体

### 採用時に以下の能力についてどの程度重視されているか



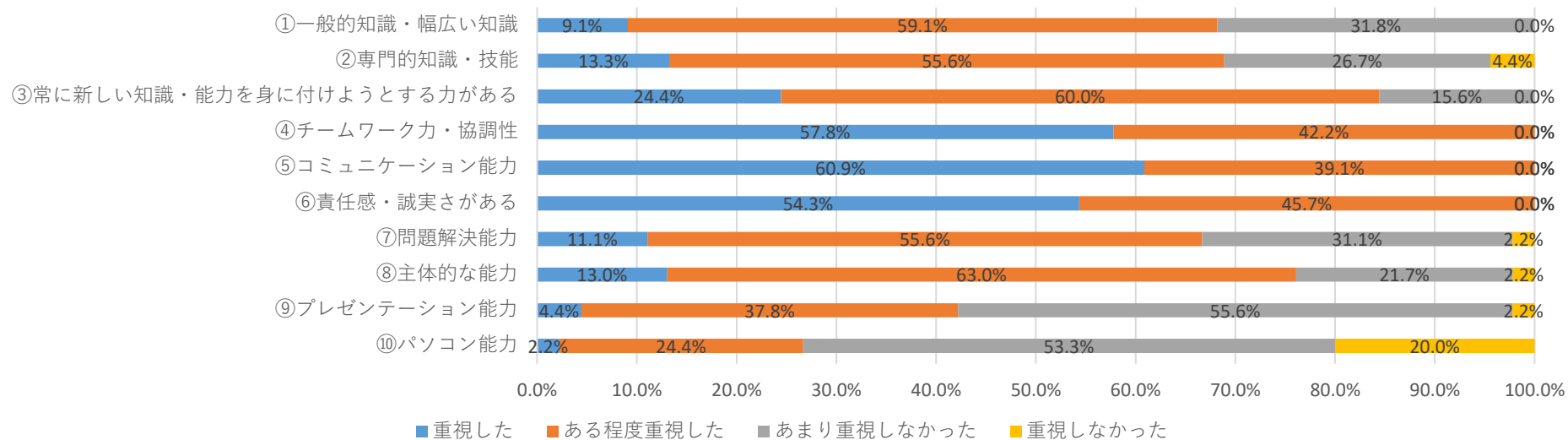
## 生活文化学科

### 採用時に以下の能力についてどの程度重視されているか



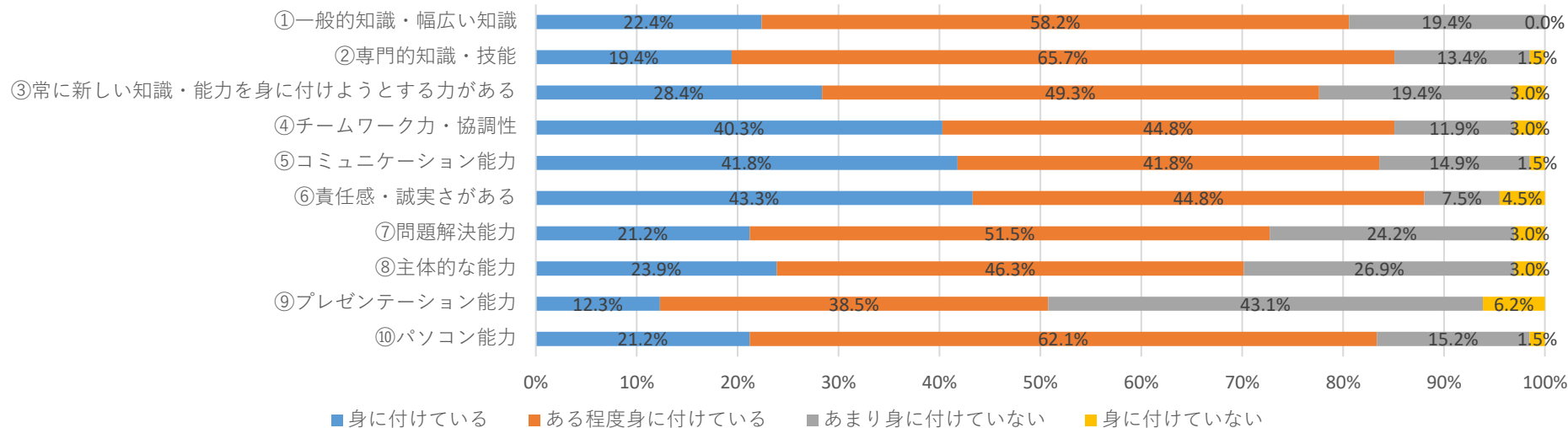
## 幼児教育学科

### 採用時に以下の能力についてどの程度重視されているか



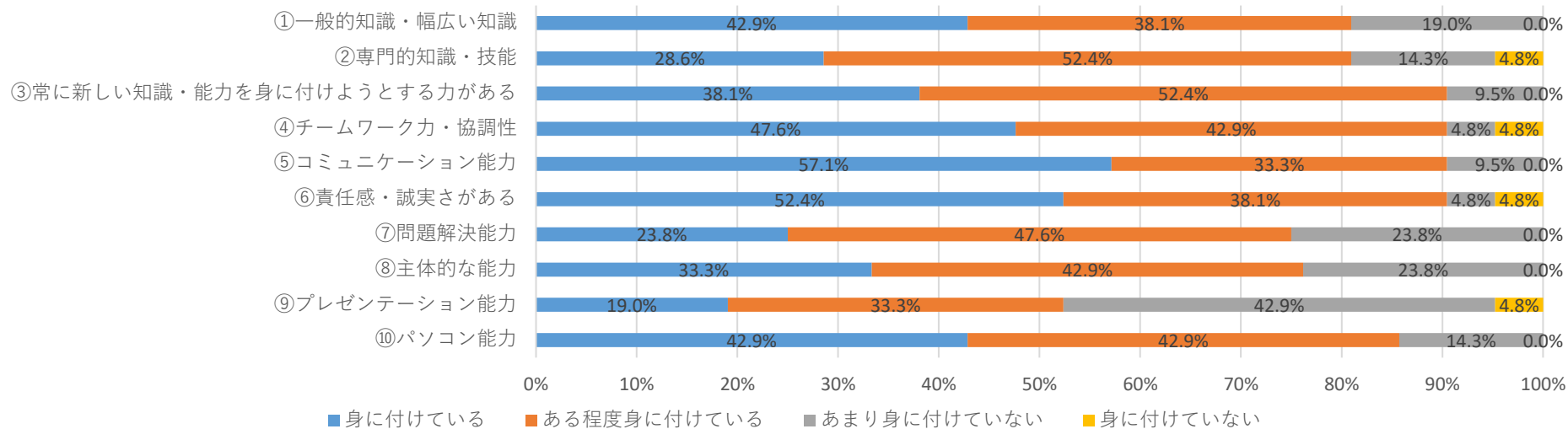
### 質問3全体

#### 本学卒業生の以下の能力について



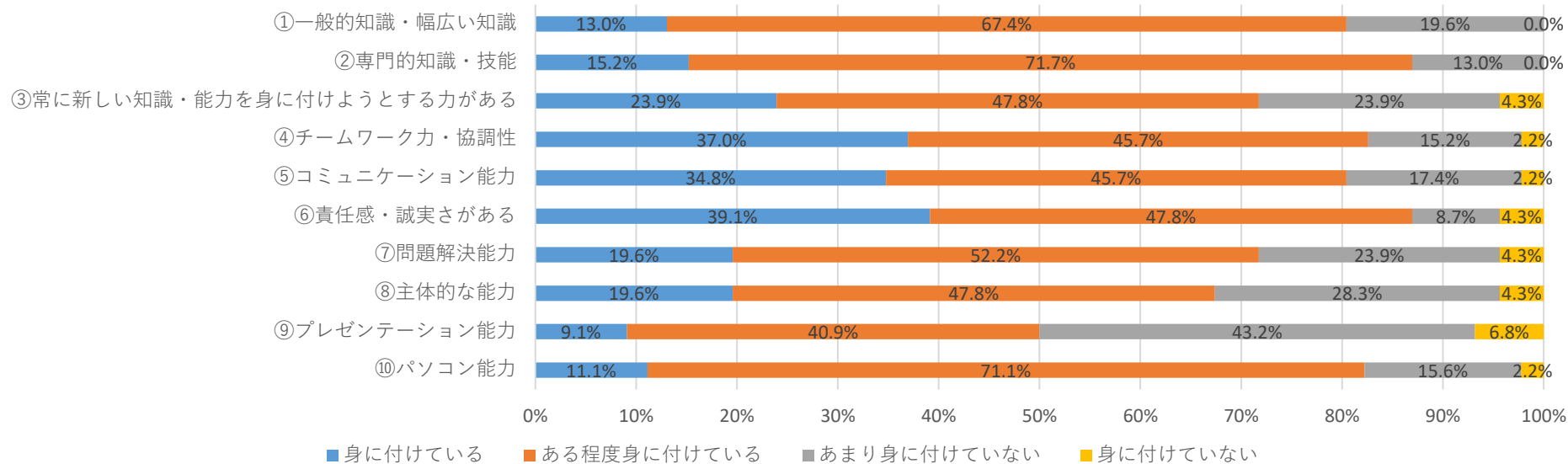
### 生活文化学科

#### 本学卒業生の以下の能力について



幼児教育学科

本学卒業生の以下の能力について



※.グラフ以外の質問の回答は省略しています。